

障害福祉サービス等の現状について

1 本市の障害のある人の状況

(1) 市の人口の推移

	R1 (R2. 3. 31時点)	R2 (R3. 3. 31時点)	R3 (R3. 12. 31時点)	2年比較 R3/R2
	守山市の人口	83,852人	84,566人	84,980人

(2) 手帳所持者数

手帳名称	区分	H30	R1	R2	R3 (2/1現在)	2年比較
						R2/R1
身体障害者手帳 1級～6級	全体 (人)	2,426	2,422	2,435	2,393	1.01
	内18歳未満 (人)	89	83	79	77	0.95
療育手帳 A1, A2, B1, B2	全体 (人)	713	750	783	815	1.04
	内18歳未満 (人)	209	210	220	231	1.05
精神障害者保健福祉手帳 1級～3級	全体 (人)	499	547	567	589	1.04
	内18歳未満 (人)	19	30	31	39	1.03

*複数の手帳を所持している重複者を含む

2 本市の障害福祉（者）サービスの現状

(1) 主な障害福祉サービスにおける請求額

請求額は増加傾向にあります。特に、居宅介護、行動援護、共同生活援助、就労継続支援 A 型の増加幅が大きくなっています。

主な障害福祉サービスの3ヵ年の請求額

		No	サービスの名称	請求額 (千円)			R3 (1月末)	2年比較 R2/R1
				H30	R1	R2		
介護給付	訪問系	1	居宅介護	122,700	135,069	155,052	135,683	1.15
		2	重度訪問介護	18,742	18,429	18,138	9,820	0.98
		3	行動援護	25,746	27,089	44,725	30,161	1.65
	日中活動系	4	療養介護	31,254	32,573	32,648	28,208	1.00
		5	生活介護	396,957	415,243	441,845	392,915	1.06
		6	短期入所	36,322	38,122	35,291	36,774	0.93
	施設系	7	施設入所支援	61,352	62,892	63,980	51,537	1.02
訓練等給付	居住系	8	共同生活援助 (GH)	107,789	148,344	169,986	148,243	1.15
		9	就労移行支援	36,984	45,235	30,668	20,629	0.68
	就労訓練系	10	就労継続支援 A 型	31,683	34,695	47,407	47,394	1.37
		11	就労継続支援 B 型	274,915	284,832	295,043	272,135	1.04

*請求額は、実際に利用された月の請求の合計で、費用額から利用者負担額を除いた額

(2) 主な障害福祉サービスにおける利用延べ人数

利用延べ人数についても、請求額同様、増加傾向にあります。

主な障害福祉サービスの3カ年の請求額

(単位：人)

		No	サービスの名称	年間利用延べ人数			R3 (1月末)
				H30	R1	R2	
介護給付	訪問系	1	居宅介護	1,865	1,955	2,064	1,869
		2	重度訪問介護	215	184	158	112
		3	行動援護	327	329	333	320
	日中活動系	4	療養介護	121	123	120	100
		5	生活介護	1,973	1,873	2,041	1,751
		6	短期入所	614	620	543	555
	施設系	7	施設入所支援	438	375	387	310
訓練等給付	居住系	8	共同生活援助（GH）	652	755	821	744
	訓練系・就	9	就労移行支援	253	248	153	125
		10	就労継続支援A型	243	241	320	289
		11	就労継続支援B型	2,196	2,171	2,237	2,027

(3) 障害者支援区分の認定状況

支援の必要度が高い方の割合が、これまでと同様に高い傾向にあります。

	H30年度		R1年度		R2年度		R3年度 (1月末)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
区分1	1	0.3%	1	0.3%	1	0.3%	1	0.3%
区分2	32	8.9%	33	8.9%	37	9.8%	39	10.2%
区分3	82	22.8%	88	23.8%	93	24.5%	94	24.7%
区分4	92	25.6%	84	22.7%	80	21.1%	76	19.9%
区分5	52	14.4%	57	15.4%	59	15.6%	57	15.0%
区分6	101	28.1%	107	28.9%	109	28.7%	114	29.9%
計	360	100%	370	100%	379	100.0%	381	100.0%

(4) 障害福祉サービスの今後の見通し

障害福祉サービスの利用者数が増加傾向にあり、かつ支援の必要度が高い方の割合が高いことから、今後もこの傾向（重度化を含む）が継続すると想定されます。

よって、障害福祉サービスに係る費用は、増々伸びることが想定されます。

(5) 市内の障害福祉施設の現状

通所型および居住型の施設は増加傾向にあります。

令和3年度中に、市内には新たに生活介護事業所が2施設「祥（欲賀町）定員10人」、「なないろ（洲本町）定員20人」、グループホームが1施設「にじいろホーム（十二里町）定員10人」開所しました。

施設種別		市内施設数		
		R1	R2	R3
通所型	生活介護	8	8	10
	就労支援A・B	11	10	11
居住型	施設入所支援	2	2	2
	グループホーム(共同生活援助)	9	9	10

令和4年度国庫申請では、グループホームの新規創設が申請中です。(創設分1件)

※その他、大規模修繕等も申請中です。

(6) 主な施設の整備状況(市の施設整備補助制度対象分)

名称	施設の種類	運営主体	定員	備考
にじいろホーム	共同生活援助	社会福祉法人白蓮	10人	令和3年10月
生活介護事業所 なないろ	生活介護	社会福祉法人にぎやか会	20人	令和4年1月
(仮称)グループホームはぐくみ	共同生活援助 短期入所	社会福祉法人はぐくみ会	共同生活援助13人 短期入所2人	令和4年度見込み

3 本市の障害児福祉サービス(放課後等デイサービス)の現状

(1) 市内の放課後等デイサービス事業所数

事業所数の推移

	R1	R2	R3 (1月末)
滋賀県内 (大津市除く)	107	136	148
守山市	13	16	20

守山市では、令和3年度中に、新たに4事業所が開設されています。

(ジュニアスペースらいぶ守山、ゴールフリーB5守山教室、てのひら水保、すくすく広場だいち)

(2) 主な障害児福祉サービスにおける利用延べ人数および請求額

放課後等デイサービスの利用状況をみると、利用延べ人数の伸びに比べ、請求額が大幅に伸びています。

これは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として全国一律に実施された学校の一斉臨時休業をきっかけとして、新型コロナウイルス感染症を原因とする一斉臨時休業中に放課後等デイサービスの支援を提供した場合の基本報酬については、平日の利用であっても学校休業日単価(単価が高い)が適用できるとする特例措置が取られたことが大きな要因であると考えられます。なお、現在は、この特例は廃止されています。

また、きめ細やかな支援が可能となる障害児相談支援については、利用延べ人数が年々増加しています。

主な障害児サービスの3ヵ年の請求額および利用延べ人数

サービスの名称	区分	H30	R1	R2	2年比較
					R1, 2
児童発達支援	利用延べ人数 (人)	714	691	725	1.05
	請求額 (千円)	26,952	30,791	32,590	1.06
放課後等デイサービス	利用延べ人数 (人)	2,910	3,407	3,454	1.01
	請求額 (千円)	224,896	307,422	364,089	1.18
医療型児童発達支援	利用延べ人数 (人)	65	22	14	0.64
	請求額 (千円)	1,847	774	180	0.23
障害児相談支援	利用延べ人数 (人)	327	340	441	1.30
	請求額 (千円)	5,148	5,551	7,220	1.30
保育所等訪問支援	利用延べ人数 (人)	42	41	42	1.02
	請求額 (千円)	1,305	950	1,208	1.27

*請求額は、実際に利用された月の請求の合計で、費用額から利用者負担額を除いた額

(3) 障害児福祉サービス（放課後等デイサービス）の今後の見通し

放課後等デイサービスのニーズは年々高まっており、利用者数も増加し続けています。令和3年度にはケアニーズの高い児童への支援を評価する個別サポート加算が新設される等の報酬改定がされたことから、費用は増々伸びることが想定されます。

4 本年度およびこれからの取組

(1) 生活介護施設、グループホームの整備促進

本市のみならず湖南圏域において、特に生活介護施設およびグループホームが不足している課題について、国・県の補助金が採択されるまでの間、仮設にて生活介護事業を運営される法人に対して、その家賃を補助する制度により障害者の居場所作りに寄与しました。（令和3年度は2法人を支援）

今後についても、市内で整備を予定されているグループホーム等について、施設整備費の補助を行うなどの整備促進に努めてまいります。

また、職員不足の課題についても、人材育成研修費補助制度を継続し、支援してまいります。

(2) 重い障害のある人への支援の充実

令和2年に重症心身障害者通所施設「かなえ」が開所し、市では運営面への補助を行っております。また、重い障害のある人にも対応できる生活の場を拡充するため、次期整備についても湖南4市で検討を始めております。

(参考)「もりやま福祉プラン2021」における数値目標等の状況

圏域での整備を検討している「地域生活支援拠点」については、湖南福祉圏域の既存施設を活用した面的整備を行う方針で湖南4市が協議を重ねております。令和5年度末までの整備に向けて、4市が補完しあえる面的整備につなげてまいります。